W Vestax

Professional Mixing Controller

PMC-37Pro

取扱説明書

T154-0023

東京都世田谷区若林1-18-6

電話 03-3412-7011

ファックス 03-3412-7013

web: www.vestax.com

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-37Proプロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いします。

目 次

ご使用上の注意		2
安全上のご注意		3
本機の特長		4
各部の名称と機能		4
フェーダーユニットの交換	<u> </u>	9
接 続 例	·	10
故障かな?と思ったら		11
保証、アフターサービスについて		11
主 な 仕 様	······································	12

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置 (モーター、調光器など) や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム (うなり) を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。
- ●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方(スクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損 害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよく ご理解下さいますようお願い致します。



警 告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定さ れる内容を示しています。

絵表示の例



記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグを コンセントから抜け)が描かれています。

電源プラグをコンセント から抜け



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれて います。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれない ように注意)が描かれています。

指を挟まれないよう注意



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源 スイッチを切り、その後必ず電源ブラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、 販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- セントから抜け
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセ ントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

注 意



雷源プラグをコン セントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接 続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱 し、やけどの原因となることがあります。

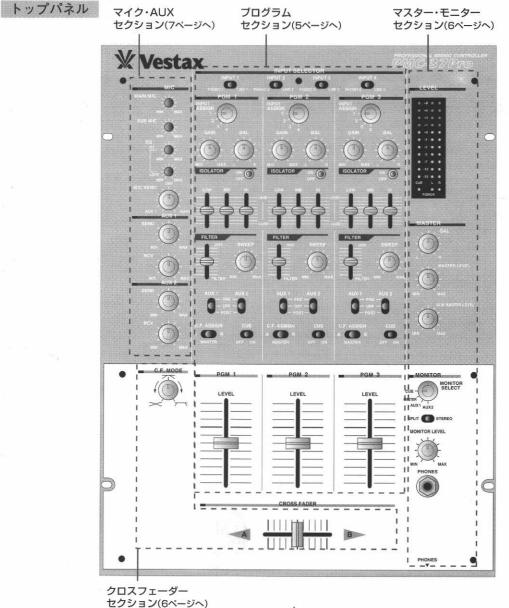


- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしない と火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用 については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続け て聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 動理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響 を与え、火災の原因となるこたがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。

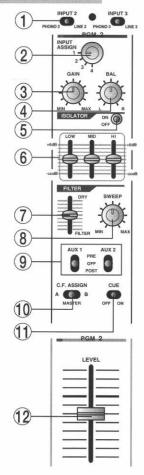
本機の特長

- 各チャンネルに入力したソースを自由自在に任意のPGM (プログラムチャンネル) にアサインすることができるマトリクスインプットアサインシステムを採用。
- 完璧なアイソレーションを可能にする高性能3バンドアイソレーターをスライド式フェーダー方式で搭載。 これにより、瞬時にアイソレーター効果を出す事も可能となりました。
- SWEEPボリュームで細かく調整が効く新設計のダイナミックフィルター搭載。
- 本格業務用 VCA 回路を内蔵し、S/N・歪率ともハイプロフェッショナルな仕様を実現しました。
- エフェクトセンド・レシーブを2系統搭載。各PGMにそれぞれ2系統のアサインが可能です。また、アサイン方法もプリ・ポストスイッチによって選択することが可能となります。
- マイク入力には、独立した2バンドEQに加え、SENDボリュームも装備しております。

各部の名称と機能



プログラムセクション



- INPUT SELECT SW(入力切替スイッチ)
 各INPUT(1~4)への入力をPHONO入力及びLINE入力から選択します。
- ② INPUT ASSIGN SW (入力アサインスイッチ) 各PGM (1~3)に入力するソースを、INPUT 1~4のいずれにするかの選択をします。
- ③ PGM GAIN (ゲインボリューム) 各PGMの入力レベルを調整します。
- ④ PGM BALANCE (バランスボリューム) 各PGMのL-R音量バランスを調整します。レコードプレーヤーのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じるL/Rのバランス不良を補正することもできます。
- ⑤ ISOLATOR ON/OFF SW(アイソレーターON/OFFスイッチ) 各 PGMアイソレーター(⑥)のON/OFFスイッチです。O FFの状態にすると、ISOLATORのツマミの位置にかかわらず、フラットな状態となります。
- ISOLATOR [HI/MID/LOW] (3バンドアイソレーター)
 各PGMの3バンドアイソレーターです。
 LOW:低音域のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
 MID:中音域のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
 HI:高音域のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
 LOW、MID、HI全てを一∞の位置にすると、音が出なくなります。

- ⑦ DRY-FILTER MIX FADER (フィルターミックスフェーダー) フィルターを通したエフェクト音と、ドライ音のミックスの割合をコントロールするフェーダーです。ツマミが一番上にあるときはドライ音のみ、一番下のときはエフェクト音のみとなります。
- ⑧ SWEEP (スウィープボリューム) フィルターをかけるピーク周波数をコントロールするボリュームです。右へ回すと高い周波数へ、左へ回すと低い周波数へ移動します。
- ④ AUX ASSIGN SW (AUXアサインスイッチ) エフェクトセンドジャック(④)に、音声信号を送るかどうかを設定するスイッチです。それぞれ、次のような機能があります。

PRE: インブットフェーダー(⑫)とクロスフェーダー(⑬) の位置にかかわらず音声信号が送られます。

※但し、ゲインボリューム(③)・バランスボリューム (④)・アイソレーター(⑥)・フィルター(⑦.⑧)を、経由した音声となります。(インプットフェーダーが0の位置になっていても送られます。)

OFF: 音声信号はエフェクトセンドジャック(④) に送られません。

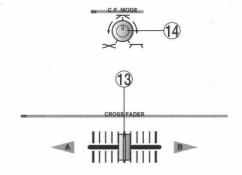
POST: インプットフェーダー((1)) とクロスフェーダー((1))・ゲインボリューム((3)・バランスボリューム((4)・アイソレーター((6)・フィルター((7)・(8) を経由した音声信号が送られます。(インプットフェーダーが0位置になっているときは、送られません。)

- ① C. F. ASSIGN SW (C. F. アサインスイッチ) 各PGMの信号をクロスフェーダーにアサインするスイッチです。Aにするとクロスフェーダーの左側に、Bにするとクロスフェーダーの左側に、MASTERにすると、そのPGMの信号がクロスフェーダーを通らずに直接マスター部へ送られます。
- ① CUE SW (キュースイッチ) 各PGMにおけるプリフェーダーからの信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを選択するスイッチです。ヘッドフォンで任意のPGMの入力をモニターする際に、このスイッチをONにして下さい。
- ① INPUT FADER (インプットフェーダー) 各PGMの入力レベルを調整します。

·注意

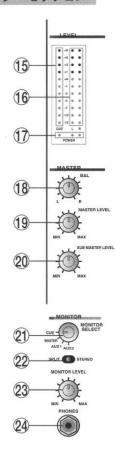
インプットフェーダーを移動させた時にノイズが目立つ場合には、新しいフェーダーに交換して下さい。交換用のインプットフェーダーは、IF-37PCV (ストローク60mmタイプ)をお求め下さい。また、ストローク45mmタイプのIF-05PCVへも交換可能です。なお、交換の際は9ページの『フェーダーユニットの交換』をご参照下さい。

クロスフェーダーセクション



① CROSS FADER (クロスフェーダー) 左側に移動するに従い、C.F.アサインスイッチ(⑩)でAにアサインした音が、右側に移動するに従いBにアサインされた音が出力されます。

マスター・モニターセクション

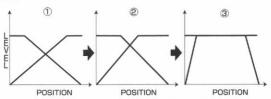




注 意

クロスフェーダーを移動させた時にノイズが目立つ場合には、新しいフェーダーに交換して下さい。交換用のクロスフェーダーは、CF-37PCVをお求め下さい。なお、交換の際は9ページの『フェーダーユニットの交換』をご参照下さい。

① C.F.MODE (C.F.カーブ調整ボリューム) クロスフェーダー(③)のカーブを調整します。左に回すほどなだらかな変化になり、ロングミックスに適しています。右に回すほど急激な変化になり、スクラッチやカットイン/アウトに適しています。



ボリュームを時計方向にまわすと ① ightarrow ② ightarrow ② A. CROSS FADER CURVE

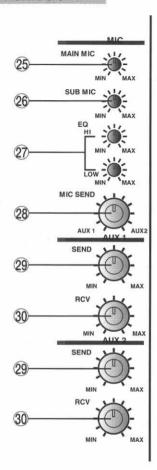
- (5) CUE LEVEL METER (キューレベルメーター) LED バーグラフにより、キューレベル(入力レベル)を表示します。 ただし、2つ以上のキュースイッチ(①)をONにした場合はそのレベルの合計が表示されるため、1つのソースのレベルをモニター する場合は他のソースのキュースイッチをOFFにして下さい。
- (6) MASTER OUT LEVEL METER(マスターアウトレベルメーター) LEDバーグラフにより、L・Rchから出力される信号レベルを表示します。
- ① POWER INDICATOR (パワーインジケーター) 電源 ON状態で、LED が点灯します。
- (18 MASTER BALANCE (マスターレベルバランス) リアパネルのマスター出力端子から出力される信号のL-R の音量バランスを調節します。
- (9 MASTER LEVEL (マスターレベルボリューム) リアパネルのマスター出力端子(③)から出力される信号 のレベルを調節します。
- ② SUB MASTER LEVEL (サブマスターレベルボリューム) リアパネルのサブマスター出力端子 (④) から出力される 信号のレベルを調整します。
- ② MONITOR SELECT SW (モニターセレクトスイッチ) ヘッドフォンでモニターする信号を選択します。"CUE"で キュースイッチ (①) をONにしたPGMの信号を、"MASTER" でマスター出力 (③) の信号を、"AUX"でエフェクトレシ ーブ(④) の信号を、モニターできます。なお、出力形式は、 モニター形式切替スイッチ (②) で設定した通りになります。
- ② MONITOR STYLE SELECT SW(モニター形式切替スイッチ) ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。機能は次の様になります。

SPLIT: スプリットキュー方式。この場合、ヘッドフォンの左側からは、モニターセレクトスイッチ(②)で選択した音声がモニターでき、右側からは常にマスター出力(③)の音声をモニターすることができます。

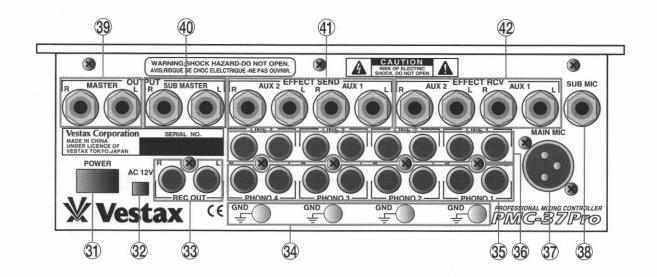
STEREO: ステレオモニター方式。この場合、モニターセレクトスイッチ(②) で選択した音声をヘッドフォンの両耳でモニターすることができます。

- ② MONITOR LEVEL VOLUME(モニターレベルボリューム) ヘッドフォンジャック(②) に接続されたヘッドフォンのモニター音量を調整します。
- ② HEADPHONE JACK (ヘッドフォンジャック) ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用下さい。

マイク・AUXセクション



- 25 MAIN MIC LEVEL (メインマイクレベルボリューム) メインマイクジャック(③)に入力したマイクの音量を調整します。
- ② SUB MIC LEVEL (サブマイクレベルボリューム) サブマイクジャック(③) に入力したマイクの音量を調整します。
- ② MIC EQ [HI/LOW] (マイクイコライザーボリューム) マイクの音質をHI/LOWの2バンドで調整します。
- 28 MIC SEND LEVEL (マイクセンドレベルボリューム)マイク音声の信号を、AUX1、AUX2に接続されたエフェクターに送る際に使用します。左に回転させるに従いAUX1に、右に回転させるに従いAUX2に出力されます。センター位置でセンター位置で、EFFECT SENDのAUX1及びAUX2より送られる信号レベルは0になります。
- ② AUX SEND LEVEL (AUX センドレベルボリューム) AUX センドジャック(④)) から出力される信号レベルを調整します。 出力される信号は、AUXアサインスイッチ(③) で選択します。
- ③ AUX RCV LEVEL (AUXレシーブレベルボリューム) AUXレシーブジャック(@)に入力される信号レベルを調整します。予備のライン入力としても使うことができます。



③ POWER SW (電源スイッチ)

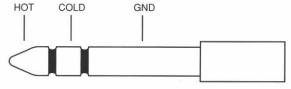
電源ON/OFFスイッチです。ONのときに、トップパネル上 のLED (①) が点灯します。

- ※このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアン プ等のボリュームを下げるか、電源を切った状態で行っ て下さい。
- ③ POWER INPUT JACK (電源アダプター入力ジャック) 付属のACアダプター(AC-12A)を接続して下さい。
- ③ REC OUTPUT (録音用出力端子) [RCA PIN JACK 録音用の出力端子です。テープデッキ・DAT・MD等に接続 して下さい。 ※マスターレベル(19)に関係なく一定のレベルで出力され ます。
- ③ GROUND TERMINAL (アース端子) ターンテーブルのアース線を接続して下さい。ノイズやハ ムを減少させます。
- ③ PHONO INPUT(フォノ入力端子)[RCA PIN JACK] ターンテーブル用の入力端子です。MMカートリッジのセッ トされたターンテーブルを接続して下さい。 ※MCタイプのカートリッジをご使用の場合は、ヘッドアン プが必要です。
- 36 LINE INPUT (ライン入力端子) [RCA PIN JACK] ラインレベル出力機器を接続するための入力端子です。CD プレーヤー、テープデッキ、DAT、MD等を接続して下さい。
- ③ MAIN MIC JACK (メインマイク入力端子) [XLR 2PIN:HOT] メインマイク入力端子です。
- ③8 SUB MIC JACK(サブマイク入力端子)[1/4" PHONE JACK] サブマイク入力端子です。

39 MASTER OUTPUT(マスター出力端子)[1/4" PHONE JACK] マスターのT.R.Sバランス出力端子です。パワーアンプ、 プリメインアンプの入力端子へ接続して下さい。

※バランス接続は、下の配置にそったケーブルをご使用下さい。

TipHOT RingCOLD Slaeve ······GND



図B. T.R.S JACK

- 40 SUB MASTER OUTPUT(サブマスター出力端子)[1/4" PHONE JACK] サブマスターのアンバランス出力端子です。DJブース内の モニター用出力端子として、また第2の出力端子としてお使 い下さい。
- ④ EFFECT SEND JACK(エフェクトセンド端子)[1/4" PHONE JACK] 外部エフェクターの入力端子に接続して下さい。モノラル接 続の際はL側端子をお使い下さい。
- ④ EFFECT RCV JACK(エフェクトレシーブ端子)[1/4" PHONE JACK] 外部エフェクターの出力を接続して下さい。モノラル接続の 際はL側端子をお使い下さい。

フェーダーユニットの交換

注 意

ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

トップパネルの外し方

- ①図Cのようにインプットフェーダー(⑫)、クロスフェーダー(⑬)、のツマミを取り外して下さい。(計4個)
- ②トップパネルを固定している5点のネジを、図のようにプラスドライバーを使用し、外して下さい。

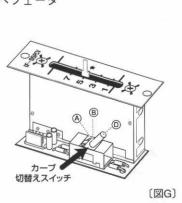
フェーダーの交換

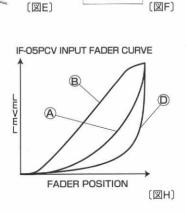
- ①図Dのように、フェーダーパネルを本体と固定しているネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げて下さい。
 - ※フェーダーユニット交換の際は、**※** 印の部分のネジを緩めないで下さい。
- ②図Eのように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取り外して下さい。 (この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)
- ③新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

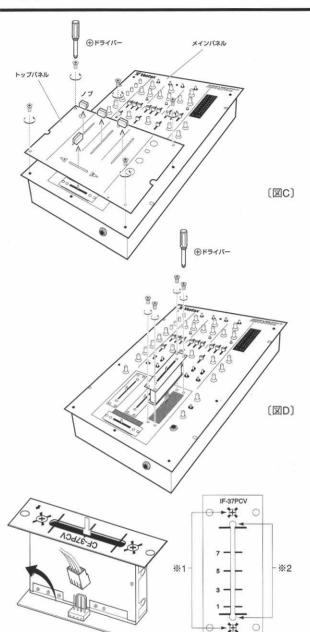
IF-05PCVに交換される場合

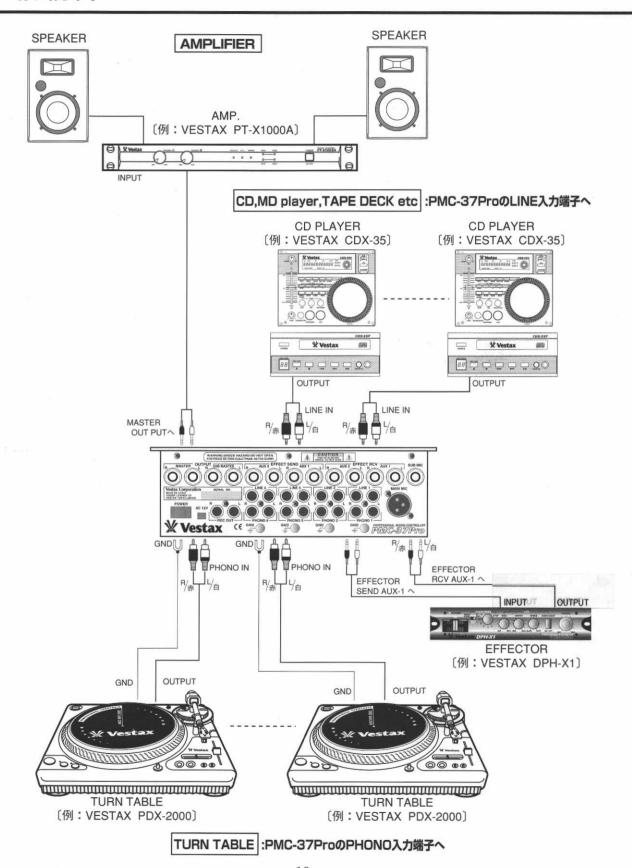
■交換方法

- ①本体から"IF-37PCV"を、上記「フェーダーの交換」 の要領で取り外して下さい。
- ②IF-37PCVの ♥ 印部分(図F※1) の2点ネジを外し、 パネルを取り外して下さい。
- ③交換するフェーダーユニット"IF-05PCV"のツマミを 取り外し、IF-05PCVのパネル上 ▼印部分の2点ネジ を外し、パネルを取外します。
- ④②で外したIF-37PCVのパネルをIF-05PCVユニットに 取り付けます。 ※但し、取付ける際のネジ位置は図F※2部分になり ます。
- ⑤上記「フェーダーの交換」の要領で、本体へフェーダーユニットを取り付けて下さい。
- ■カーブ切替えスイッチについて IF05PCVには、右図(図G)のようにカーブ切替スイッチが搭載されています。右図(図G)のように切替える事で、AカーブBカーブDカーブというカーブに設定することができます。(図Hのようなカーブ特性がそれぞれ得られます)









10

故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。 それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源アダプターがはずれている。	確実に電源ダプターを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っている。	正しく接続する。
	MASTER LEVELボリュームや、各音 量調整ボリュームが MIN になってい る。	各音量調整ヴォリュームを適正な位置 に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーに仕様しているカ ートリッジに MC タイプを使用してい る。	カートリッジを MM タイプへ交換する。
	ターンテーブル(PHONO AMP 内臓 されていないもの)を LINE 入力端子 へ接続している。	ターンテーブルを PHONO 入力端子 へ接続する。
音が歪む。	PMC-37Pro の出力をプリメインアン プの PHONO 入力端子に接続してい る。	プリメインアンプの AUX や LINE 入 力に接続し直す。
	CD、MD プレイヤー等を PHONO 入力 端子へ接続している。	CD、MD プレーヤー等は LINE 入力端 子へ接続する。
	PHONO AMP内蔵のターンテーブルを接続している。	PHONO AMPが内蔵されていないものまたは、LINE出力切替のあるものを使用する。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっている。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い 音 (ハム音またはバス音) が 入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気 器具や電源コードがある。	蛍光灯または他の機器の電源コードを できるだけ難してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはず れていませんか。	アース線を PMC-37Pro 本体の GND ターミナルに接続する。
フェーダーの動きが悪い。 または、動かすとノイズが 発生する。	クロスフェーダーが消耗している。	新品のクロスフェーダーに交換する。 (別売の交換用クロスフェーダーユニットCF 37PCV をご購入ください。)
インプットフェーダーの動 きが悪い。または、動かす とノイズが発生する。	インブットフェーダーが消耗している。	新品のインブットフェーダーに交換する。 (別売の交換用クロスフェーダーユニット IF 37PCV をご購入ください。)

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」 等の記入をお確かめのうえ、販売店から受 取っていただき内容をよくお読みの後、大 切に保管してください。

保 証 期 間 — お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打 切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する 為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 (保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

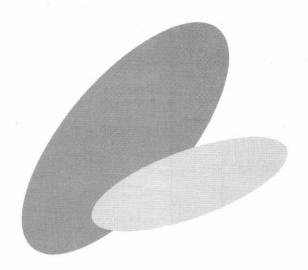
保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。 見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日					
	お買い上げ店名	7	()	_	



主な仕様

1 1			I P	NOMINAL INPUT	IMPEDANCE	
INPUT	PHONO 1~4	(RCA PIN JACK)		-45dBv	470 Ω	
SECTION	LINE 1~4	(RCA PIN JACK)		0dBv	47ΚΩ	
	MIC	(1/4" PHONE	JACK)	-50dBv	47ΚΩ	
	EFFECT RECEIVE (1/4" PHONE JACK)		0dBv	3.3ΚΩ		
				NOMINAL OUTPUT	LOAD IMPEDANCE	
OUTPUT	MASTER	(TRS BALANCED JACK)		+4dBv	>10ΚΩ	
SECTION	SUB MASTER	(1/4" UNBALANCED JACK)		0dBv	>10ΚΩ	
	REC. OUT	(RCA PIN JACK)		-10dBv	>10ΚΩ	
	EFFECT SEND	(1/4" PHONE JACK)		0dBv	>10ΚΩ	
				MAXMUM OUTPUT	IMPEDANCE	
	HEADPHONE	(1/4" PHONE	JACK)	187mW (150 Ω load)	>8Ω	
FREQUENCY RESPONSE			*	20~20kHz		
S/N RATIO			<-80dBv			
POWER SUPPLY			AC12V 1000mA			
DIMENSIONS (W×H×D)			302×103×406 (mm)			
WEIGHT		5.8kg				

^{*}仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。